



「道徳性」を養う

校長 加藤 康弘

初夏の香りが感じられる季節となり、校庭の木々の緑が一層鮮やかに映える中、子供たちが生き生きと遊ぶ姿がまぶしいばかりです。

先日の道徳授業地区公開講座では、「親切・思いやり」をテーマに、講師の先生による講座と全学級の道徳授業の公開を行いました。御参加いただきました多くの保護者の皆様、地域の皆様から感謝申し上げます。

講師の先生による講座では、「見方考え方を変えて、よくない、よくない」というところを見直そう」という主題で絵本を教材として、三、四年生に向けた合同授業を行いました。子供たちは、登場人物の気持ちに共感し、自分の考えを素直に表現しながら学んでいました。

さらに各教室では、テーマの「親切にするとは」、「思いやりとは」を改め

て問い直し、友達と考えを交流する子供たちの姿が見られました。「人に親切にする」ということは、子供たちはこれまで様々な場面で聞かされてきたことでしょう。つまり、頭ではもう分かっていることなのです。その分かっていることについて、改めて友達と積極的に意見交換しながら考えを広げ深めていける子供たちには、着実に道徳性が養われていくものと思えます。また講師の先生からは、こうして道徳の授業で積極的に意見交換を行っている子供たちは、他教科の授業においても友達と協力しながら学びを深めていくことができる子供たちに育っていくものですよという言葉をいただきました。

と連携してこそ、大きな成果が期待できるものと考えます。道徳教育について家庭と地域そして学校が共通理解し、同じ方向性で育てていくことで、道徳教育の目標にある「自立した人間」として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うための道徳的な判断力や態度などが育ち、様々な問題場面に直面した際に、道徳性に基づく行動が選択できる子供たちに育っていくものと考えます。

御家庭でも機会を捉えて、道徳の授業について話題にしてみてください、「こんな場面ではどのように考え、どのように行動するか。」などと、お子さんと一緒に道徳性について考えていただければ幸いです。どうぞ御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今の時期、毎朝、正門で「神小あいさつ隊」の子供たちが、「おはようございます。」

という爽やかな声を響かせてくれています。その声に呼応して挨拶を返すことのできる子供たちの明るい表情も印象的です。

他者への「思いやり」について学んだ子供たち。まさに「思いやり」の心情が、爽やかな挨拶の声となって現れている姿だと微笑ましく思います。

六月の目標

【生活指導】

健康や安全に気を付けよう

【保健目標】

歯を大切にしよう

【給食目標】

手洗いをていねいにしよう

